

高岡市の教育課題と目指す方向性について

1 高岡市の教育における課題（これからの高岡の教育を考える懇談会より）

- (1) 次期学習指導要領では、予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となるように、「主体的・対話的で深い学び」の実践や、小学校での「英語」、「道徳」の教科化、「プログラミング」の導入等が予定されており、新たな指導に向けた準備が必要となっている。

○次期学習指導要領についての発言

- ・学習指導要領の改正で、英語の問題について高岡においては、比較的 ALT が多いので、なんとか対応できるのではないかと。ただ、専門の人員の配置が必要ではないかと。研修等はあると思うが、数回の研修で対応できるとは思えない。多忙化の解消が必要。
- ・元々なかった英語が教科になり、プログラミングもある。現場の率直な思いとしては、大変。

- (2) 小学校から中学校への進学において、小・中学校間の教育活動の差異により、学校種間の隔たりがあり、子供たちの成長に即した連続した教育が求められている。

○小中一貫教育についての発言

- ・学習指導要領の改正に伴って、英語の強化などあるが、小学校の多くの教員が英語の免許を持っているわけではないので、小中一貫にして、中学校の英語の先生が乗り入れ授業を行うなど、模索していく必要がある。
- ・将来のことも考え、小中学校の一貫校など、枠を広げていいのでは。
- ・仮に、四・三・二を高岡に導入した場合、統合する学校を入れるかどうかで、学校の作り方が変わってくる。費用もかかる。ある程度スペースをもつ必要もある。

- (3) 高岡で育った子どもたちが、ふるさと高岡の未来を担う人材となって欲しいと願っているが、多くの子ども達が大学進学とともに県外へ行き、戻ってこない現状にある。

○高岡の未来を担う人材についての発言

- ・優秀な人材の確保のため、ふるさとに愛着を持たせるのが大事。大人が言うとも子供もそういうものかと思う。
- ・私たちはどのような子供を育ててほしいかという、最終的には社会に役立つ子を育ててほしい。算数や国語が出来るというよりも、相対的な力があれば社会に出ても大丈夫だと思う。
- ・高校までは地元にいるが大学で県外に出てしまい、そのままその地で就職してしまうケースが多い。せっかく育てているのに、外に送り出しているような状況である。富山県全体として考えていかなければならない。
- ・村を見捨てる学力でなく、村を育て支える学力をとということで、地方創生という意味でも、地域大学にも期待されている部分大きいと感じている。教育基本法では、人格の完成が一つと、人間として国家、社会の担い手、形成者を育成するという事を言っている。現実には、県内大学進学率が低く、県外に進学した後県内に戻ってこない状況である。それぞれの人生の選択肢であるので、地域でもっと魅力ある仕事、生活の場を作ることが必要。

- (4) 高岡で育てたい理想の人間像を学校、保護者、地域で共有し、その目標達成に向けて教育効果の可視化を行う必要がある。

○教育目標についての発言要旨

- ・先生と保護者で、幸せの定義・高岡で育てたい理想の人間像を共有したい。PDCAをまわして知徳体のゴール、目標の見える化を行うことができればよい。
- ・いかに目的を共有するのかがというところで、家庭、小中という面では連携というのが重要だと感じた。
- ・アウトプットは決して学力だけではなく、いじめの件数、不登校の件数を減らすにはいったいどういった変数が有効なのかという事も考えられる。インプットとしての変数は、例えば、学校行事への参加、部活動への参加など、関係のありそうなものを全て入れてみて、関係性を見た上で、自分たちの知っている世界と違和感がなく、腑に落ちるような関係性が見えるとそれは成功だと思う。この結果が正しいという事ではなく、あくまでもきっかけに過ぎないと思う。

2 高岡市の教育の目指す方向性

高岡市では、「高岡市教育大綱」「高岡市総合計画」の中で、教育の基本理念、基本方針等について、以下のとおり示している。

(1) 高岡市教育大綱 基本理念

「未来創造のための人づくり」

本市が持続的な発展を遂げていくために、高岡の未来を拓く人材を育成することは教育の使命です。高岡市教育大綱では、「人がまちを創る」という考えのもと、基本理念を「未来創造のための人づくり」とします。

(2) 高岡市教育大綱 基本方針

①個性が輝き、可能性が花開く教育環境の創造

一人ひとりの能力を伸ばす教育を推進します。幼児教育の充実を図り、幼児期から学童期、さらには小学校生活から中学校生活への円滑な接続に向けた取組みを行います。学力・体力の向上や情報化・国際化への対応に努めるとともに、豊かな心を育む教育を推進します。また、安全・安心な教育環境の整備に努めるとともに、良好な教育環境を維持していくため、学校規模の適正化に取り組みます。

②社会全体で人を育む絆の創造

学校・家庭・地域の連携を強化し、総合的な放課後対策に取り組むなど、子どもたちの成長や子育てを社会全体で支援する体制づくりを進めます。また、生涯学習の場や機会の拡充により、多様な世代の社会参加と、地域コミュニティの活性化を図り、社会が人を育み、人が社会をつくる好循環が生まれる環境整備を図ります。

③うるおいと活気に満ちた学習機会の創造

子どもたちが将来に夢と希望をもって成長していけるように、誰もが技を磨き、生きがいをもって輝き続ける生涯学習社会を目指します。そのために、多様な世代が生涯にわたって学習活動やスポーツに励んだり、文化や芸術に親しんだりできる環境づくりを進めます。特に若者や女性をターゲットとする施策・事業を展開し、活気あるまちづくりを進めます。

④誇りをもって夢を語れるふるさとの創造

先人が築いた高岡の歴史と伝統の上に立ち、誇りをもってふるさとに貢献できる人材を育成します。そのために、ふるさと教育や将来の生き方を考える教育を推進するとともに、住みたいと感じてもらえるまちづくりを進めます。また、歴史・文化資産の一層の魅力向上に努め、市民一丸となって「歴史都市高岡」を国内外に発信することで、人々の交流の拡大を図ります。

(3)高岡市総合計画 めざすまちの姿実現のための基本方針（教育関係）

「教育を通じて個性を磨き、生きる力を高めあっている」

①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進

基礎学力の定着を図るため、教師の指導力の向上や多様な学習指導の充実に努めるとともに、自他の生命や人権を尊重する心の教育、食育や健康教育など様々な教育活動を通じて、知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健全な人間形成に努めます。

②地域に開かれた特色ある教育活動の充実

地域の教育力を活かし、環境教育や福祉教育など特色ある学校づくりを推進します。また、子どもたちが、情報・国際化社会の中で広い視野をもって生きていくための情報活用能力や豊かな国際感覚を育てます。さらに、ふるさと高岡の豊かな自然、歴史、文化を学ぶとともに、「ものづくりのまち高岡」の特性を最大限に活かした学習やボランティア活動などを通じて、職業観を育成するとともに郷土を愛する心を育てます。

③教育効果を高める教育環境の充実

教育内容・方法の多様化、児童生徒数の増減等の学校運営に影響を及ぼす社会情勢の変化に対応した教育施設の充実と改善、余裕教室の活用、通学区域の見直し、学校規模適正化等に取り組みます。

また、家庭や地域と連携して、子どもたちの安全確保に努めます。

④高等学校・高等教育機関の充実・連携

地域における高等学校や高等教育機関の有効性を高めるため、協力要請とともに産学官の連携や義務教育との連携に努めます。